

一般環境経路による石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査

94百万円(73百万円)

環境保健部企画課石綿健康被害対策室

1. 事業の概要

石綿取扱い施設周辺などで一般環境経路による石綿ばく露の可能性のあった代表的な地域において、住民を対象に、問診、胸部X線検査、胸部CT検査等を実施し、経過観察が必要な者に対しては、定期的に検査(年1回)を行い、適切なフォローアップを行い、石綿のばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクについて解析を行う。

また、石綿関連疾患の所見が見つかった者に対しての重点的な受診勧奨や保健指導の方法について検討する。

2. 事業計画

現在、6地域で実施中。21年度より新たに以下を実施する。

調査対象地域を追加する。

石綿関連疾患の所見が見つかった者への受診勧奨やフォローアップの検討及び地域における保健指導の在り方のマニュアル作成と講習会の実施。

区 分	18	19	20	21	22	23(*)
石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査					→	→
(3地域：大阪府泉南地域、尼崎市、鳥栖市) H18～					→	→
(6地域：奈良県、羽島市、横浜市鶴見区) H19～					→	→
(上 記) H21～					→	→

*：平成23年3月までに行われる法制度の見直しに対応して予算の見直しを実施

3. 施策の効果

一般環境経路で石綿ばく露の可能性があった代表的な地域において、石綿のばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクに関する実態を把握し、その成果を、今後の石綿関連施策、救済法の見直し、他の地域における保健指導等に活用する。

一般環境経由による石綿ばく露の健康リスク評価に関する調査

